



福祉人材センター × 介護福祉士会

ふくし・かいご通信

2023
3月
No. 18



発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

北海道福祉人材センター
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

今月は… 私のかいごストーリー

一般社団法人北海道介護福祉士会 後志支部 事務局長 三浦 浩和 氏
(社会福祉法人溪仁会 コミュニティホーム岩内 介護課 介護福祉士)



エピソード1 「介護のきっかけ」

私は小さい頃より祖母と過ごす事が多く、よく祖母の家へ泊りに行ったり、老人クラブのゲートボールを祖母に連れられ見学したりしていました。出身が泊村なので、近くを散歩していても高齢の方が多く環境でした。小学校の優しい人ランキングがあり、3位（男性では1位）だったこともあり、優しさについて考えるようになりました。高校生になり、進路を考えた時に母が「介護とかいいんじゃない？」と言われ、自分の性格と合うと思い介護の道へ歩み始めました。



エピソード2 「介護のイメージ」

札幌の介護の専門学校へ進学し、学生生活を送り、初めの難関が「実習」でした。自分のイメージしていた介護は高齢者と会話し、ほのぼのした環境でレクをしたり、散歩するようなものだと思っていましたが、実習先は重度の要介護者の棟でコミュニケーションも出来ずイメージと違いすぎて、どう関わって良いか分かりませんでした。専門学校の先生と実習先の主任に実習してみてどうだったか聞かれた際に、なんと伝えてよいか分からず5分以上無言の時間が続きました。先生と主任は、私が話し出すまで待ってくれて、イメージと違ったことなど聞いてくれました。先生は「三浦くん、殻を破りなさい」と話してくれましたが、その時は良くわかっていませんでした。



エピソード3 「介護の実践」

専門学校を卒業し今働いている職場の介護老人保健施設コミュニティホーム岩内に就職し、各ユニット、デイケア、ま〜れ（小規模デイサービス）、ふれ愛の郷（特別養護老人ホーム）等のコ



コミュニティの丘を一通り勤めさせて頂きました。デイケアでは6～7年勤務し、小規模デイは2～3年程勤務し管理者をすることもありました。しかし、職員への注意や方向性を決める際の意見をまとめること等のリーダーシップが取れずとても苦労しました。優しさだけではなく、厳しさも必要なのだと感じました。

ユニットでは、異動しても覚えていてくださった認知症の利用者の方に感動したり、デイケアでは、通所に拒否があった利用者の方を相談員の課長と共に熱く「〇〇さんが来ないと会が始まらないんですよ～」「〇〇さんが来てくれるので場が盛り上がるので、いつも助かっているのですよ」と声掛けしたことで「ほお、じゃあいくかな～」と応じてくれたこと。ま～れでは、丸亀製麺へ行った際、先払いした後に「俺が払ってやるから！」と職員の分も奢ろうとしている利用者の方にうまく説明できませんでしたが、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えたことで少し落ち着かれたこと、ふれ愛の郷では、自分の思った介護が出来ずに職員と上手くいかなかったことなど、様々なことがありました。

エピソード4 「まとめ」

この経験や思い出を振り返って、相手に合わせるだけではなく、時には自分の考えもしっかりと伝えること、殻をやぶることの難しさ、相手をしっかり見ていくこと、そして、誠心誠意を尽くして感謝を伝えていくことが介護に必要な「やさしさ」なんだと私は思います。又、介護は一人でやっているわけではなくチームで行っていることを忘れず、困った時は一度立ち止まって周りの仲間に相談したり一緒に考えていけたら良いと思います。私の専門学校のように。

今後は、自分に芯を持ち、相手に伝えていくことと、相手へのいたわりや優しさを忘れずに日々、精進していこうと思います。

そうして関わって行くことで「ありがとう」と言う私たちの仕事への燃料を頂けるのだと思います。



一般社団法人北海道介護福祉士会

介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に寄与している団体です。★ 新入会員募集中 ★

TEL&FAX 011-222-5200



北海道介護福祉士会
HPリンク